

Sensor Chime

センサチャイム 〈セット内容〉本体、ホネジ2本

取扱い方法

詳しい取扱い方法は台紙内側を参照してください。

■使用例

本器だけの使用
(店舗の入口や玄関に)



本器のリレー出力端子に別売の
チャイムを組み合わせた使用例

●店舗の入口や玄関に本器
(リレー出力端子にチャイムを接続)



●離れたお部屋で同時にお知らせ

電線(別売)

チャイム
(別売)

検知エリア

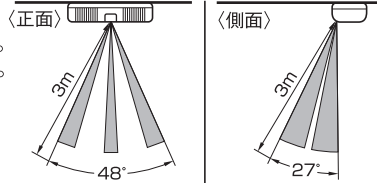
人体を検知するエリアは右図のようになっています。このエリア内へ人間が入ると、チャイムモード・スイッチにより設定されたチャイム音が鳴ります。また、同時にリレー出力もONします。(特長の項目参照)

検知エリア	約3m以内 (検知可能な人の歩く速さ) 0.6~1.2m/s
-------	--------------------------------------

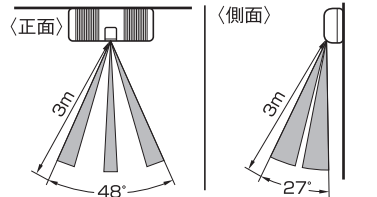
※この商品は本器の下を人が通過した場合に検知する構造になっておりますので、検知エリアが下を向くように取り付けてください。

※取り付け方により検知エリアを切換えます。

天井取り付けの場合の検知エリア



壁面取り付けの場合の検知エリア



Do It Yourself

—誰にでも簡単に取り付けられます。—

特長

単2乾電池2本使用

1日50回の検知動作で約1年間使用できます。
(ただし、リレー出力はOFFの状態)

音量ボリューム付

0~85dB/10cm (A特性)

人体検知エリア

可変(2ポジション)天井付、側壁面付が可能です。

リレー出力端子付

A接点(メイク接点)、接点容量(DC 12V 100μ~1A)、出力時間(約1~30秒可変)。チャイム音が発報すると同時に出力がONしますので、他のチャイムを同時に発報させることができます(使用例参照)。また、リレー出力をスイッチにより停止することもできます。

チャイム音

2音(ピンポン、メロディ)スイッチにより選択可能。

ご注意

- 本器は人体(服も含む)と背面物との温度差で人体を検知しますので、季節や天候により検知感度が多少変化する場合があります。また、センサカバーの汚れによっても変化することがありますので、センサ部分には常にお手入れをしてください。
- 電池が古くなりますと動作が不安定になり誤動作しますので、新しい電池と交換してください。交換は必ず2本同時に行なってください。
- ご使用中に異常が発生した場合、電池を抜き取り、ご購入店へご相談ください。ご自分での点検、修理、改造は行わないでください。
- 本器のお手入れは柔らかい布で空拭きするか、中性洗剤を薄めた水で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となりますので使用しないでください。



T4975584701017



DX アンテナ株式会社

本社 / 〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)
東京支社 / 〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号長崎第1ビル TEL.(03)3341-4569(代)

Prestige Leader in Home Security

Sensor Chime

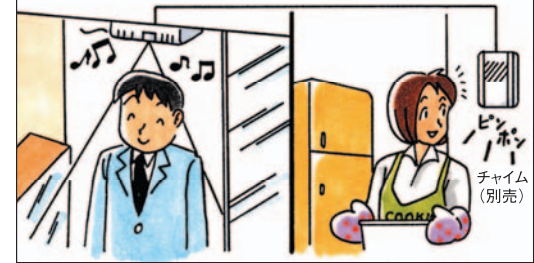
センサチャイム

単2乾電池2個(別売)使用

電池を入れるだけで赤外線センサが人の動きをすばやく
キャッチして、メロディを発報します。
別売チャイムの追加で離れた場所でもお知らせします。



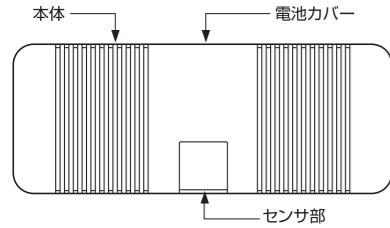
自動来客通知器



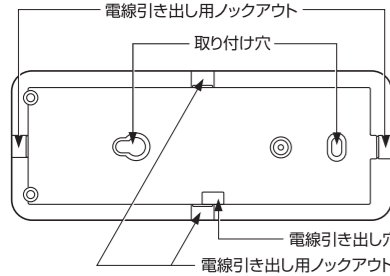
- スピーカ内蔵の最新コンパクト設計。
- お店の構造により、天井取り付け、側壁面取り付けが選べ、本器の下をお客様が通過するとチャイムでお知らせします。
- リレー出力端子に別売チャイムを接続すれば、離れた場所でも同時にお知らせ。出力時間調整も可能(約1~30秒)。
- チャイム音はメロディとピンポンのどちらかが選べ、美しい音でお知らせします。音量調整も可能(0~85dB/10cm)。

各部の名称

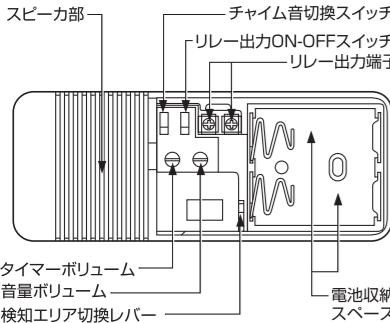
本器の正面



本器の底面



本器の内部



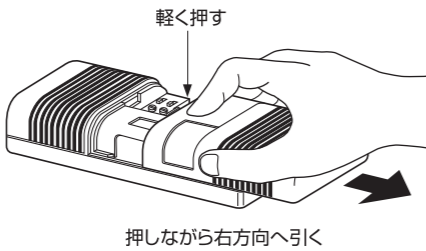
電池の入れ方と交換方法

本器は単2乾電池2本を使用します。

電池寿命	条件
約1年	1日50回検知動作、 リレー出力OFF、音圧80dB/10cm
	1日30回検知動作、 リレー出力ON(出力時間5秒)、 音圧80dB/10cm

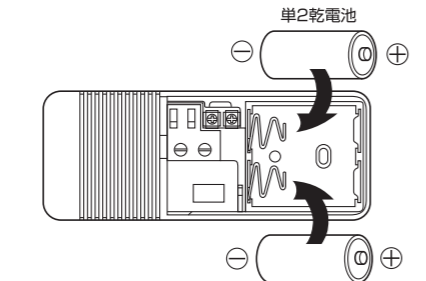
下図に示す順序で行なってください。

電池カバーのはずし方



電池の入れ方

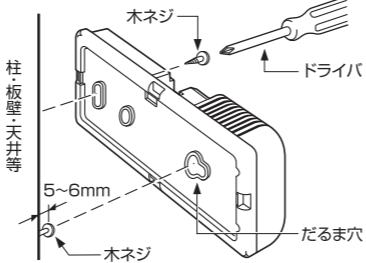
※電池は⊕ ⊖をまちがえずに入れてください。



※電池を入れてから約30秒後に安定した検知動作を始めます。

取付け方

電池カバーを本体よりはずし、付属の木ネジ2本で取付けます。

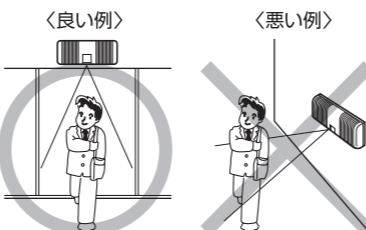


- ① 付属の木ネジの1本を柱、板壁、天井等に頭が5~6mm程度出るくらいまでねじ込んでおく。
- ② だるま穴を①の木ネジに引っ掛け、残りの木ネジで止める。

取付け上の注意

※取付けは検知したい場所に検知エリアが向くような場所を選んで行なってください。その際、台紙ウラ面の検知エリア図、及び検知エリアの角度調整の項をよく参照し、人が必ず本器の下を通過する様に取付けてください。
※検知エリアは必ず床面に向くよう取付けてください。窓、空間、木(植木・鉢植)または動物(ペット類)の通路に向けての取付けは誤動作の原因となりますので行なわないでください。

取付け方向の注意点



本器の下を通過する取付け方 本器の前を横切るような取付け方

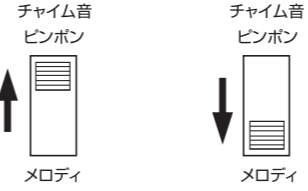
本器は屋外での使用はできません。屋外で使用しますと雨等が内部浸水して故障の原因となります。

使用方法

チャイム音切換スイッチの設定

お好みのチャイム音を設定してください。

ピンポンの場合 メロディの場合



音量ボリュームの設定

お好みの音量に設定してください。

※「小」の位置では音量はゼロになり、チャイム音は出ません。
※リレー出力のみを利用する場合は音量をゼロにしてください。



リレー出力ON-OFFスイッチとタイマーボリュームの設定

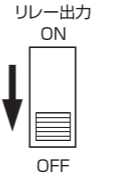
リレー出力を利用する場合

リレー出力ON-OFFスイッチをONにする。次にリレー出力の接点がメイク(リレー出力端子の使い方参照)する時間を接続相手に応じて設定する。



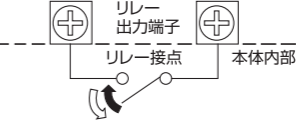
リレー出力を利用しない場合

リレー出力ON-OFFスイッチをOFFにする。もし、ONになっていれば電池の寿命が短くなります。また、リレー出力端子間は非導通状態となっています。



リレー出力端子の使い方

リレー出力端子はセンサが人を検知するとチャイム音が発報すると同時に下図のように動作します。よって、玄関チャイム等の押しボタンなどで動作する機器(メイク接点入力機器)に、このリレー出力端子を押しボタンの替わりに接続すると自動来客チャイムとなります。



メイク動作	リレー接点がタイマーボリュームの設定時間だけ接触してリレー出力端子間が導通する。
ブレイク動作	タイマーボリュームの設定時間が経過すると、リレー接点が非接触となり、リレー出力端子間が非導通となる。

また、リレー出力端子間に通電できる電気容量は下記となっていますので、この規格を超えると故障しますのでご注意ください。

リレー出力端子間の電気容量 DC12V 100μA~1Aまで

リレー出力端子の接続方法

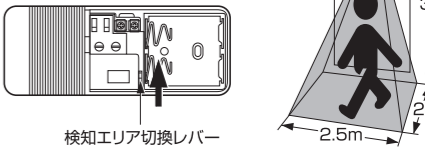
手順1 本体裏面より電線を引き出し穴に電線を通す。
手順2 ドライバで電線を引き出し穴を被ふくをむく。
※電池カバーをはずした状態。リレー出力端子へ決線する。電線はなるべく太い線を使用してください。※奥までキッチリ差し込んでください。

手順3 上側引き出し用、下側引き出し用、左側引き出し用、右側引き出し用の端子に電線をつなぐ。
手順4 上側引き出し用、下側引き出し用、左側引き出し用、右側引き出し用の端子に電線をつなぐ。
※お好みに応じて、カッター、ナイフ又はニップル等で電線引き出し用ノックアウト(4ヶ所のうち1ヶ所)を切り取る。

検知エリアの設定

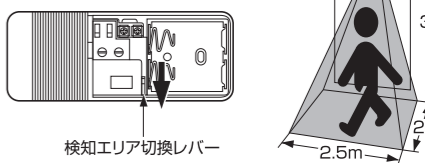
玄関、出入口等に設置する場合

検知エリア切換レバーを→印の方向に倒す。



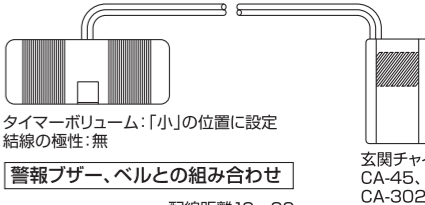
天井に設置する場合

検知エリア切換レバーを→印の方向(手前)に倒す。



リレー出力端子を使用したシステム

玄関チャイムとの組み合わせ



警報ブザー、ベルとの組み合わせ

タイマーボリューム: 必要な時間だけ設定(1~30秒)
結線の極性: 無
※SA-18Bの場合は、マグネットSWをはずして使用します。